



THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2007年5月 No.300
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y ' s THEME (2 0 0 6 ~ 2 0 0 7)	
センテニアルクラブ会長:	『たのしくなければ、センテニアルじゃない!!』
国際会長	: 『愛をもって 積極参加』
アジア会長	: 『参画、そして感動を!』
西日本区理事	: 『一人はみんなのために、みんなは一人のために』
中西部部長	: 『いざ立て! 熱き思いをいだいて』

クラブ役員	Officers
会長	: 坂本 哲朗
副会長	: 永島 寧
書記	: 石津 雅人
会計	: 藤原 正巳
ネット会長	: 坂本 千春
Y連絡職員	: 鍛冶田 千文

Biblical Message of May

「あの人は、モアブの野からナオミと一緒に戻ったモアブの娘(ルツ)です。『刈入れをする人たちの後について麦束の間で落ち穂を拾い集めさせてください』と願い出て、朝から今までずっと立ち通しで働いておりましたが、.....」
 (ルツ記第2章7節)

May Club Meeting 『LT』

5月第1例会

日時: 2007年5月16日(水) 18:30~20:30
 場所: リーガグランドホテル3階 葵の間

司会: 石津 雅人 君

1. 開会点鐘 坂本 哲朗 会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 坂本 哲朗 会長
4. 聖句朗読 谷川 寛 君
5. 今月の強調活動・LT

石津 雅人 君

6. 晩 餐 一同
7. 入 会 式 奥田 敏彦 君
8. スピーチ

「BF代表として北欧を訪れて」

大阪土佐堀クラブ 会長 岡野 泰和 氏

9. インフォメーション
10. お誕生祝い・ニコニコ献金
11. 閉会点鐘 坂本 哲朗 会長

5月第2例会

日時: 2007年5月23日(水) 18:45~20:30
 場所: 大阪YMCA土佐堀会館4階

5月お誕生日 隅田保君 3日

キャンプで変身する子どもたち

島中 彬

大きな自然の中で仲間と協同生活することで、子どもはかくれた能力を発揮して達成感を味わい、生きる楽しさと難しさを体験することで「生きる力」を身につける。私たちは子どもにたくましさを発揮させ、「生きる力」を身につけさせるキャンプを社会全体で守り、たくましい子どもを育てていく努力をせねばならない。私たちは子どもたちを鍛えるためにキャンプをしているのではないのだが、キャンプをしていると常では考えられない子どもの体力や驚異的ながんばりや忍耐力に驚くことが多い。屋久島のキャンプでは、縄文杉を見に行く往復22キロの厳しい登山コースを、今まで2~3キロしか歩いたことがない小学生や、持病で自分で長距離は歩けないと思っていた子たち全員が歩ききった。昨年の夏休みには小中学生を対象に播州高原の「こぶし村」キャンプ場から西脇市まで約55キロの山越えコースを5日かけて歩くキャンプをした。参加した15人の男女小中学生は助け合い励ましあいながら、暑い中、雨の中を歩ききり、5日目の夕方全員ゴールした。その夜のキャンプファイヤーでは多くの子どもが泣きながら5日間の苦労と歩ききった喜びを語っていた。まさに偉大な自然の力であり、不思議なキャンプの力である。大きな自然の中で仲間と協同生活することで、子どもはかくれた能力を発揮して達成感を味わい、生きる楽しさと難しさを体験することで「生きる力」を身につける。私たちは子どもにたくましさを発揮させ、「生きる力」を身につけさせるキャンプを社会全体で守り、たくましい子どもを育てていく努力をせねばならない。

【クラブ統計 Statistics】

2007年4月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 17名	メ ン	14名	12名	4月: 切手 400g.	4月: 19,000円
例会出席 16名	メネット	6名	3名	現金 0円	(06年7月からの累計):
うちメーキャップ	ビジター	0名	0名	(06年7月~07年4月の	累計: 199,130円
2名	ゲ ス ト	4名	1名	累計)切手 2,150g	オケヨシ累計: 55,500円
出席率 94.1%	合 計	24名	16名	現金 2,000円	

今月の聖句に寄せて

今回引用した旧約聖書のルツ記の箇所は、先月中村茂高さんが引用したのとほぼ同じ箇所です。中村さんの引用からこの話を思い出しました。無一文でベツレヘムに帰った姑のナオミを助けるためにただ一人同伴した寡婦のルツ（英語読みならルース）は親戚のボアズの好意で落穂拾いで姑を養います。この「落穂拾い」というのは、古代イスラエルでは、弱者救済の仕組みの一つでした。

この心優しい異邦人の娘ルツには、その後新しい運命が開けます。彼女は後の世の多くの絵画に登場します。あの有名なミレーの「落穂拾い」の名画にはルツの姿はありませんが、神を疑うことなく、人生の運命に従順であったルツの精神が生きています。パリのオルセー美術館のこの絵の前で、我を忘れて30分以上もじっと立ちすくんでいたのを思い出します。

聖句選・コメント：谷川 寛

4 月 第 1 例 会

とき：07年4月18日(水) 18:30～20:30

ところ：リーガランドホテル3階 葵の間

ゲストスピーカーは、奈良昭彦さん。奈良さんは JICA のシニアボランティアとして山国のブータンを01年から03年まで、セントルシアを05年から今年の2月まで滞在。帰ってきて間もないこの例会で報告をしていただきました。

インドと中国（チベット）に挟まれたブータンは九州の1.2倍の大きさ。首都はティンプー。奈良さんの訪問の目的は地方の都市計画をすることで、人口の首都流入を避けるため、地方都市のインフラを整備することでした。橋の建設一つについても、日本は業者が現地に行って橋の組み立てるのに、他の国では資金の援助だけしかせず、ODAの援助の仕方についても、国によって違いがあり、いろいろと考えさせられたそうです。

またカリブ海に浮かぶ小さな島国セントルシア。米国・フロリダの南。首都はカストリーズ。まずこの国に2人のノーベル賞の受賞者、経済学者と文学者がいたことに驚いたとのこと。

貧困削減基金（PRF）は、貧しいコミュニティからプロジェクトを起こし住民を巻き込んで実施するコミュニティ委員会で、世界銀行の融資の受け皿として発足。問題は、JICAの現地要望主義にあり、現地の国が要望を出した時点から2年かかる時間のズレ。その間に担当者が変わる、融資の期間が終わっている場合もある。ブータンの都市計画は5年から10年のスパンでやる事業で、活動期間の2年ではまとまったことはできない。

奈良さんは最後に、ブータンとセントルシアのどちらがよかったかということについては、景観はセントルシアの方がよかったが、対人関係はブータンの方がよかった。倫理観、価値観が違う。貧しくとも、どちらも「子どもの目は輝いていた」という言葉が印象的でした。

（中村茂高）



パソコンを操作し宅話をされる奈良昭彦氏

YMCA ニュース

新年度が始まりました。一昨年17人でスタートした表現・コミュニケーション学科は3学年80名となりました。新入生の8割は不登校経験者でまだまだ不安定です。最初にお互いを知るためのあるゲームで「最近びっくりしたことは？」の問いに「私が学校に来ていること。」「戻れるならいつに戻りたい？」の問いには「今が一番楽しいから今でいい」という生徒も。神様に守られて一人ひとりが輝くことを祈る毎日です

初心者のための山登り教室

初心者を対象に山歩きを基礎から学べる教室です。3カ月の講習後8月に修了登山として北アルプスに行きます。

期間：5月29日（火）～8月21日（火） 毎週火曜日
講習：机上・実技 詳細はおたずねください。

参加費：18000円

お問合せ：土佐堀YMCA

早天祈祷会

日時 5月18日（金）7時30分～8時30分

奨励 南出和余（大阪YMCA常議員）

会員大会

日時 5月26日（土）13時～14時30分

* 大会終了後大阪YMCA創立125周年記念礼拝と記念事業発表会を行います。

4 月 BF ニュース

切手提供者：

石津、山田、谷川、田中、福永、三浦、山村君
計400g

今月の殊勲賞：石津君 200g

【 Report of the April fellowship Meeting】

とき：4月20日(金) 20:00~23:00
ところ：パナヒルズ大阪

桜の季節も終わった暖かな1日、今後のクラブのあり方を思う存分語ろうと、5年ぶりの合宿例会が万博近くのパナヒルズ・大阪で開催されました。

当日はメン12名、メネット3名のほか、入会候補の奥田敏彦さんも参加され、皆さんと懇親を深められました。夕食後、坂本会長の司会のもと、第2例会形式で話し合いの機会を持ちました。討議のテーマは「アメラジアンキャンプ支援と今後のクラブ活動のあり方」、「ファンド作り」の2点に絞って行なわれました。討議の結果は概略下記の通りですが、和やかな中にも真剣な意見交換が行なわれ、合宿例会ならではの大きな成果があげられたものと思います。

アメラジアンキャンプへの支援について

- ・2度のキャンプを通じ同キャンプとそれに取り組む当クラブの認知度も高まり、所期の目的を達成した。
- ・今後については、当クラブの財政状況のほか、受入サイドの沖縄の状況も変化してきているので、一応当クラブよりの支援は一区切りをつけたい。

今後の活動目標について

- ・当クラブには、経験豊かなキャンプリーダーが多数在籍されているので、これらマンパワーを活かし、社会的に意義のあるキャンプへの支援活動を強化し、今後の当クラブのC/S活動の柱にしていきたい。
- ・具体的な取り組み内容については、今後協議の上決定する。

ファンド作りについて

色々なアイデアが出されたが、具体的な方法については結論を得なかった。

翌日は9時すぎから、万博公園に入り散策。咲き乱れるポピーやチューリップの花々を眺めたり、「ソラード」に上がって、回廊を歩いたりと思いのひとときを過ごしました

続いて、民族学博物館の特別展「自分探しの旅」を鑑賞、夫々深い充実感のうちに楽しく有意義な週末を過ごしました。

終わりにこの素晴らしい機会をセットして頂いた松浦ご夫妻に心からの感謝を申し上げます。(藤原 正巳)



大阪パナヒルズ、翌朝解散前の晴れ晴れとした顔

Club Activities (April, 2007)

On April 18, the club's April meeting was held at the Rihga Grand Hotel in Osaka with a total of 24 Y's men, Y's menettes, and guests in attendance. With its emphasis on "YMCA Service and ASF" this month, Y's man KOUJI MATSUURA briefed the purposes and meanings of these programs. At the beginning, Y'S man SAM FUJIWARA reported the up-to-dated information on the shopping & tour programs of the Hawaii Convention informed by Mr.& Mrs. LARRY HIRANAKA.

The highlight of the April meeting was a speech made by Mr. AKIHIKO NARA, Director, Nippon Christian Academy Kansai Seminar House. Mr. NARA, also known as a famed Y's man, spoke about his precious experiences in Bhutan and Saint Lucia as a senior volunteer of the JICA (Japan International Cooperation Agency) programs.

Showing many interesting photos, he covered the wide range of the topics of the both countries, including the present situation of the Official Development Assistance programs implemented by the Japanese Government. We learnt a lot from his very informative and suggestive speech. He encouraged many senior Y's Men like us to apply for the JICA's overseas senior volunteers' service programs.

Yen 19,000 was collected from the members at the meeting as the contribution to the club fund.



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

奈良先生の話は大変興味深く考えさせられる事が多かった。(奥田 敏彦)

ブータンとセントルシアの国のこと日頃はほとんど知られていないだけに興味深く聞くことが出来ました。奈良昭彦さんの今後のご健勝を祈ります。

(大阪セントラルクラブ 尾崎 琢磨)

久しぶりにセンテニアルクラブに出席させて頂きとてもおいしい洋食もいただいて嬉しかったです。奈良昭彦さんの行かれた、ブータンとセントルシアのお話を聞く機会を与えられてとても楽しい時を持つことが出来有難うございました。

(大阪なかのしまクラブ 会長 松下 広子)

会員からのメッセージ

奈良昭彦さんの海外での体験談面白く拝聴しました。海外で活躍できるとは羨ましい限りです。(石津 雅人)

奈良さんのお話は本当に良かったです。真の支援とは何か.....海外だけでなく日常の中でも一人の生徒に対しても悩みます。(鍛治田 千文)

国名は聞いたことはありますが行ったことのない異国、又きつと行く事のない国の話を聞くのはとても興味深い事で聞き入ってしまいました。(坂本 千春)

奈良さんODAの裏話に興味を持ちました。(坂本 哲朗)

ハワイへ気持ちよく連れて行って戴くため必死で出席しています。来月は和食との事で是非出席します。(隅田 保)

シニアボランティア、JICAそしてブータンとセントルシアの興味深いお話を楽しくわかりやすく伺うことが出来ました。有難うございました。(隅田 恵子)

今回も貴重な宅話をありがとうございました。

(田中 穰二)

奈良さんのお話！久しぶりに海外のボランティアの活動を知る機会となり感謝します。(谷川 寛)

久しぶりに出席できました。奈良氏の海外でのボランティアを通じてのご経験の話は興味深く拝聴。その国の地形、気候などが如何に国が成長発展するか、その中で人々が如何に適応して働くかの姿に感銘しました。(谷川 有美子)

小さなブータンの国、TVでしか知りませんでした。セントルシア.....ごめんなさい、全く知りませんでした。楽しく拝聴致しました。(中村 幸枝)

ブータンのお話、長期間滞在の良さと大変さ興味深い話でした。(中村 茂高)

冬の再来とも思える中にも例会に集うことの幸せを感謝しています。未だ知らなかった国の事情を聴く毎に考えさせられる事が多いです。(福永 嘉彦)

久しぶりに賑やかな楽しい例会でした。やはり人数が多いのがいいですね。奈良さんのお話、定評通りの素晴らしいスピーチでした。ワイズメンの活動の広さや奉仕精神の深さを再確認し心嬉しいひとときでした。今後、京都セミナーハウス所長としてのご活躍を心から祈念しております。

(藤原 正巳)

奈良さんの行かれたブータンとセントルシアのお話し大変興味深く聞かせて戴きました。ありがとうございました。

(松浦 和子)

奈良昭彦さんのシニアボランティアご体験談おもしろく拝聴しました。ブータンが水力発電でインドに電力を売り国の をたてるというのが印象的です。セントルシア、初めて知る世界です！奥田さん大歓迎です。(松浦 孝次)

“春宵一刻値千金”とは今夜のことでしょうか。いささか寒いですが、奈良明彦様のブータンとセントルシアのお話しありがとうございました。(三浦 直之)

"ブータン"。名前だけは聞いたことがあるが奈良さんお聞きするお話「へえー」「ふーん！」と言うばかり。初めて知る国のお話后感嘆するばかり、そんな国で活動されたそのパイオニア精神に敬意を表します。(山田 孝彦)

ブータンの話興味深く聞くことが出来ました。奈良さんの山の国、島の国での活躍楽しく聞かせていただきました。

(山村 利子)

アメリカン募金として中村幸枝メネットから 5,000 円の特別献金がありました。

後 記

奈良昭彦さんのお話はとてもわかりやすく、ODAの援助のあり方についてもよく考えていらっしゃるなと感心しました。たまたま、その日の午前中に、ODAの援助に詳しい大阪大学大学院の中村安秀教授とお話をする機会があつて、「今は一方的に教えたり、学んだりする時代ではなく、ともに学びあうことが大事」という言葉と、奈良さんのお話が一致して、「なるほど」とちょっと感動の面持ちで聴いていました。

大阪パナヒルズの一泊懇親会、とても有意義な集まりでした。いっそうメンバー間の親しみ、絆が増したように思います。それにしても坂本哲朗さんのいびきは爆撃機並みでした。

今月の聖句「ルツ記」。谷川さんがまた違った視点から書いて、ミレーの「落穂拾い」の絵にまで想像をめぐらすのはさすがです。昔の貧民救済のなんと奥ゆかしいことでしょうか。

中村 茂高